

こころ豊かな人づくり



神戸 500 人委員会だより

<第 106 号 令和 8 年(2026) 04 月吉日>

編集発行 こころ豊かな人づくり神戸 500 人委員会

責任者 金川 明嗣

〒653-0042 神戸市長田区二葉町 5-1-32

兵庫県神戸県民センター 県民躍動室県民課

青少年本部神戸事務部

TEL : 078-647-9091 FAX : 078-642-1018

◆会長挨拶

第 13 期生 (西区) 会長 金川 明嗣

新しく会長に任命され 1 年、その間、運営委員・会員の皆様の応援により無事経過しました。また青少年本部神戸事務部の石井班長、加古班長には運営実務等多大なご指導を頂きました。私のような不慣れな者が無事に、各催し物、及び研修会への参加等、無事過ごすことが出来ました。本当に有難うございました。

今期も、あと 1 年間あります。会員の皆様方の応援と、運営委員の応援をいただきながら頑張りたいと思います。

また、新しい会員の入会を心からお待ちしています

皆様の御指導をよろしくお願いいたします。

なお、会員の皆様の親睦の機会を今後も持ちたいと思っています。

積極的な参加をお願いします。

追伸

我々「こころ豊かな人づくり神戸 500 人委員会」を暖かい心でご指導くださいました、石井班長 加古班長のお二人様とお別れすることになりました。今までのご指導いただきました事、本当に有難うございました。今後の益々のご活躍・ご健勝を心よりお祈り申し上げます。



◆ご挨拶

県民躍動課参画協働班 主幹 (NPO 法人担当)

加古 さま

令和 6 年 10 月～令和 8 年 3 月までの 1 年半、神戸県民センター県民躍動室県民課班長 (ビジョン・青少年担当) としてお世話になりました。

短い期間ではありましたが、みなさまと一緒させていただく機会をいただき、ありがとうございました。みなさまには、今後も神戸県民センターと連携しながら、青少年の健全育成など様々な地域活動を一層進められ、ご活躍いただきますようお願いいたします。

またどこかでお会いできるのを楽しみにしております。

県民躍動室県民課 (ビジョン・青少年担当)

安達 さま

4 月から加古班長の後任として着任しました安達です

昨年度末まで、中播磨県民センター中播磨健康福祉事務所で生活保護を担当しておりました。

青少年本部の事業に関われることをうれしく思っています。

みなさまの青少年を応援する気持ちを少しでもお手伝いできるよう、岡部地域活動コーディネーターとともに、事務局もがんばりますのでよろしくお願いいたします。



永年にわたるボランティア活動を楽しんでいます。 第2期生（北区） 高橋 貞美

私は平成3年5月から平成5年3月、第2期こころ豊かな人づくり500人委員会の2年間のセミナー開催が待ち遠しく参加・研修を受けさせて頂きました。講師は当時各界の名だたる方々で、梅原 猛、斎藤茂田、加賀乙彦、尾車浩一、加古里子、秋浜悟志、平岩弓枝、日野原重明、各氏などでした。

東北プロジェクトとして平成26年10月、兵庫ボランタリープラザと共催で東北被災者支援活動を会員14名とプラザから3名合わせて17名のメンバーで車中2泊、宿舎2泊で実施しました。

その後も会員の荒井 勲（ひまわりおじさん）氏のお世話で会員による東日本大震災被災者支援交流活動として平成27年10月、平成28年3月、8月、平成30年8月と4度訪問しました。

また熊本地震の被災地にも平成30年1月に訪問しました。阪神淡路大震災の支援活動への支援のお返しにと訪れ、自分の目で復興の状況を見ることが出来ました。

私のボランティア活動の基本は、今も続けているボーイスカウト活動です。この活動には18歳から足を踏み入れ「青少年が社会に出て自立できることを目指して」、子供たちの活動だけでなく、指導者の育成もトレーナーとして長く続けてきましたが、この役目には定年があり今は携わっていません。しかしこの活動の原点である地域での活動は今も続けております。長年の奉仕活動に対して、兵庫県から「県政功労者表彰」神戸市から「青少年育成協議会発足60周年感謝状」をボーイスカウト日本連盟からは「たか章」を頂くことが出来ました。

また、成分献血のテストの時期から年齢制限まで続けた献血が250回となり、この功労に対し日本赤十字社からは「金色特別有功章」を頂きました。兵庫県の第9回青年洋上大学で「中国大陸の北京から上海への列車の旅も」体験させて頂きました。

その他、健康の為にと思って、あいな里山公園での環境ボランティアわかば会、ひょうご観光ボランティアガイド、しあわせの村の社会人ボランティア、名谷のユースプラザでの運営ボランティアなどを今も続けております。500人委員会制度は平成29年度からリニューアルされ、地域セミナーの「青少年サポートセミナー」として開講されているため、500人委員会修了者を迎えることは無くなり、メンバーの高齢化も進み会員は減少の一途をたどるばかりです。

これからも「会員相互の交流や啓発を図るとともに、青少年の健全育成及び地域への関りを一層深める」という会の目的を目指し、今後共会員の皆様の健康と益々活発な活動を期待しています。

「ひょうご安全の日の集い1・17」に参加して 東灘区 宮崎 正一

「ひょうご安全の日の集い」に参加しました。今年もハザードマップの配布等をさせて頂きま

した。震災があった当時を振り返ると、私たち家族は長女が11ヶ月、家内は妊婦でした。

当時は現在のような詳細なハザードマップが普及しておらず、何処が土砂災害や浸水の危険地帯

かを知る術がなく、避難行動や事前の備えにおいて非常に不便で混乱を極めました。阪神淡路大震災の経験から防災意識が高まりました。今は、いつ何処に居てもスマートフォンによりハザードマップを確認できる。津波や土砂災害の危険箇所・避難場所までの経路等がデジタル化されており、敏速に避難行動が取れるようになり非常に便利なツールになりました。



◆当期の事業の実施状況

令和8年1月～3月

実施月日	事業内容	主催 及び 内容
08/01/17 (土)	ひょうご安全の日 出店	ハット神戸なぎさ公園
08/01/17 (土)	新春の集い	JR灘駅前「や台ずし」
08/03/06 (金)	トライやるウィーク東灘だんじりミュージアム	兵庫県 義務教育課
08/03/07 (土)	ビジョンフォーラム 活動報告	県 青少年本部
08/03/08 (日)	KYN交流会 神戸ユースネット	神戸ユースネット

◆イベント実施の報告

「ひょうご安全の日の集い1・17」出展報告

阪神淡路大震災から、はや31年が経過しました。今年もあの時の苦しかったことを思い出し、又天災だけではなく、異常気象による気候変動で四季が分からなくなっています。

非常時に備えるためにも、新たな気持ちで出展させて頂きました。

目 的：阪神淡路大震災の教訓・継承と地域防災力の向上

出展内容：①震災関連クイズの実施と答え合わせ

②各地区のハザードマップ配布

③防災アンケートの実施 震災時のあなたの思いアンケート

出店場所：中央区ハット神戸なぎさ公園 スタッフ参加者数 11名 集客 多数

成果と課題について

当日は天候も良く、また土曜日でもあり想像以上の集客であった。特に中央区、灘区の来場者が多くハザードマップの部数が足りない状況でした。また中年・高齢者の人気が高く興味を示して頂けた。今後の課題として震災を経験していない、特に10代、20代の年齢層の方に今後いつ起こりうるかわからない震災の怖さを知ってほしい（伝えたい）。

お客様の人数が集中してしまい参加スタッフでは対応しきれない時間帯が生じました。次回からは今回以上の参加スタッフが必要です。現状のスタッフだけでは高齢でもあり参加人数も少なく、他のボランティア活動とも一緒に活動も考えています。

ひょうご安全の日」出展準備OK！！

避難防災学習 （伝える・活かす・備える）



第一 令和8年度をどのように活動するか？

大きな活動は今まで通り「まちの文化祭」「生活創造フェスタ」「ひょうご安全の日」の3本柱を中心に活動していきます。

その他に小さなイベントを考案中です。先日3月7日には兵庫県神戸県民センター主催の神戸地域ビジョン2050に参加させて頂きました。神戸地域ビジョンとは、みんなが共有できる「なりたい姿」を県民自らが描き、その実現を目指す中長期的な地域づくりの指針です。プロセスはさまざまな年代・立場の県民の意見交換し現在の課題等について聞き取り新しい地域ビジョンに含まれる。有識者・地域団体の代表者などが集まった意見交換、発表会の場でありました。神戸500人委員会の活動は、今まで独自でイベントに参加していましたが、今後は他の活動にも参加し活動の場を広げる事も検討中です。

第二 会員の方々にどうすれば、イベントに参加してもらえるか？

イベント実施目的は、多くの会員の方々が会員同士のコミュニケーションの活性化です。コロナ禍をきっかけに気持ちが離れたのが現状でしょう

- ① なんとなく参加したくない。
- ② 親しい同僚・友人がいない。
- ③ 同居家族への負担が増える。

今後の対策として

- ① 家族やパートナーと一緒に参加できる。
- ② 小規模かつ短時間で行う。
- ③ 時間を区切らず途中自由退席が出来る。

どうしても前向きになれない人は、無理せず、不参加表明をしてください。

企画担当者にとって人数確認は必要な項目です。

(今後は各地域連絡係より、ライン・電話等で確認させて頂きます。)

イベントは集客が目的ではなく、来られたお客様・参加者が「楽しんでもらう」のが目的です。

イベントは参加において完璧である必要はありません。

編集 後記

こころ豊かな人づくり神戸500人委員会「だより」第106号の編集をさせて頂きました。4月に入り人事異動の季節です。会長の挨拶にもありますがこれ迄大変お世話になり応援して頂きました、石井班長様・加古班長様も移動転任される事となりました。新しい場でのご活躍・ご健勝を心より祈念申し上げます。

「1,17ひょうご安全の日」出展では多数の来場者があり「阪神淡路大震災」時の「あなたのおもい」を書いていただきました(別表参照)これらの思いを大切に共に語り継いでいきましょう。今回も、発刊に際し皆さま方の御協力を頂き誠に有難うございました。

なお、個人情報保持の関係上、寄稿・投稿頂きました方々の氏名を略させて頂く場合もありますが、ご了解お願い致します。

出展時の参加者の方々の「あなたのおもい」61名の方々から頂きました。」

- 1 風化させない 若者に伝える活動を活発に！！
- 2 私は、震災に関するボランティアに所属しているので、意識していることは多いと思って
いたのですが、知らないこともまだまだ沢山あります。
- 3 ささえあう心
- 4 できるだけ体力の温存につとめてください。
- 5 震災日飛び起きていき、食器が数枚割れているだけでしたが。めちゃこまりました、当時
は須磨区に住んでいました。私はあの頃は農協で働いていました。電気・ガス・水道は止
まったこともありました。
- 6 勉強になった。
- 7 しんさいでいろいろたすけてもらった かんしゃしてます。
- 8 忘れるな、震災
- 9 ふだんから備えよう
- 10 日頃から明日来てもいいように準備・心構えしておきたいと思った今日学んだことをしっ
かり実践したいです
- 11 忘れない、備える
- 12 災害にそなえる。
- 13 防災についての勉強はここでしかやっていないなあ！ 広報誌をよく読んでいます。
- 14 日頃からの備えを！！
- 15 忘れない・伝え合う。
- 16 あの体験を、未来に伝え続ける。
- 17 平和
- 18 阪神・淡路大震災 忘れません！！
- 19 大災害が起こらないように！
- 20 ガスの復旧に長く必要だった。1か月嫁の家に・義父の死 いろいろ思い出すと悲しい。
- 21 震災当日飛び起きて脱出。家具が倒れた、急に来てびっくりした。めちゃ怖かった、放心
状態でした。垂水区に住んでるけど復旧するには3時間掛かりました。
- 22 近くの中学校で避難生活しては余震が来てびっくりした。1月下旬から7月下旬まで加古
川で生活した。安全でしたよね
- 23 僕ら団地暮らしだから、ほんの半壊。加古川はいつも通り、電気、ガス、水道ほんの動いて
いたー安心でしたよ
- 24 2024年元旦 能登地震により家ガタゆれ、阪神淡路のフラッシュバック。
- 25 再度 考えよう！
- 26 1年に1度 1・17に考える
- 27 支え合う 助け合い イラスト表示あり
- 28 学び、人々の思いに触れながら、次の災害に備えたいと思います。
- 29 防災に関心をもちつつける。いつも防災

出展時の参加者の方々の「あなたのおもい」61名の方々から頂きました。」

- 30 二度とおこってほしくない。
- 31 忘れない、伝え合う、人と人のつながり コミュニケーションが大切。
- 32 一日一日を大切に。語り継いで、風化させない。
- 33 忘れない、備えよう
- 34 油断しない、あわてないで落ち着いて。避難所へ行くように行動する。
- 35 日常が幸せだと気づかされた。忘れない
- 36 お互いをささえあう
- 37 耐震 命！
- 38 日本列島は災害列島です。常に備える。
- 39 備えよう！！
- 40 ふだんから防災の意識を持っておく。災害時の備蓄品
- 41 こういう機会である日の怖さが、ゆれが思い出されます
- 42 地震より人災の方が多かった！！再開発のできない所を県が許可を下ろして国道まで入れて民間再開発がなされて、ひどい目にあっている人々が存在する！！
- 43 関心を持ち続ける
- 44 なにくそ！！
- 45 思い出すたび、今の災害は大変スピーディに対応出来ていると思う
- 46 忘れない
- 47 めいっぱい想像する。明日被災者になるかもっていうことを忘れず。未来へ語り継ぐ。
- 48 31年経ても決して忘れないように！これからの世代の人へ、必ず震災は起こります。いつ準備しても早すぎることはありません。
- 49 何時、災害が起こっても対処できるようにしたい。満点でなくても良い。
- 50 ずっとつなぐ
- 51 忘れない、備える
- 52 忘れないように
- 53 伝え広げていくこと、常日頃から備えておくこと。
- 54 備えよう！！
- 55 備えは大事
- 56 語り継ぐ
- 57 ありがとう
- 58 忘れないで、いざと言う時のじゅんぴ
- 59 忘れない 伝え合う
- 60 できる時にできることをする、忘れずに！まずは自分自身、そして家族、近所の人、友達
e t c
- 61 若い世代が積極的に、楽しみながらまちに関わる